

取扱説明書

SHIMANO

TWIN POWER

1000SDH / 2500SDH

Shallow Special

Super SHIP

株式会社シマノ全国サービスネットワーク

株式会社シマノ 仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区森野2-17-10 TEL.(022) 332-4775	株式会社シマノ 大阪営業所 〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85 TEL.(06) 9418-4541
株式会社シマノ 大宮営業所 〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL.(048) 322-3815	株式会社シマノ 岡山営業所 〒700-0941 岡山市青江16-6-18 TEL.(086) 264-6100
株式会社シマノ 東京営業所 〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03) 3744-5656	株式会社シマノ 広島営業所 〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL.(082) 255-8143
株式会社シマノ 千葉営業所 〒284-0045 千葉県田沼市泉町1-30-11 TEL.(043) 333-1780	株式会社シマノ 四国営業所 〒768-0014 香川県高松市流町1496-1 TEL.(0875) 3-2220
株式会社シマノ 静岡営業所 〒410-0807 静岡県沼津市島町674 TEL.(0559) 32-3983	株式会社シマノ 九州営業所 〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字程路4-6 TEL.(0942) 33-1515
株式会社シマノ 名古屋営業所 〒454-0012 名古屋市中川区屋敷線2-6-21 TEL.(052) 331-6666	株式会社シマノ ビスセンター 〒065-0010 札幌市東区北十条東1丁目 TEL.(011) 752-6622

株式会社 **シマノ** 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁目77番地
 商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ
 フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ) 受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00
 釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市瑞港新町1-5-15
 商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ TEL.(0722) 33-2851 / FAX.(0722) 33-2860
 Printed in Japan (990108) [017]

安全上のご注意 ご使用前に必ずお読みください。

注意

糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまさないでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。

逆転防止付リールでストッパーをOFFにして約っているとハンドルが逆転し、手に当たったり、レバーを操作する時、指を伸ばすとレバーレキ付きリールで、レバーを操作する場合がありますので注意してください。

回転しているローターに当たり、けがをする場合がありますので注意してください。

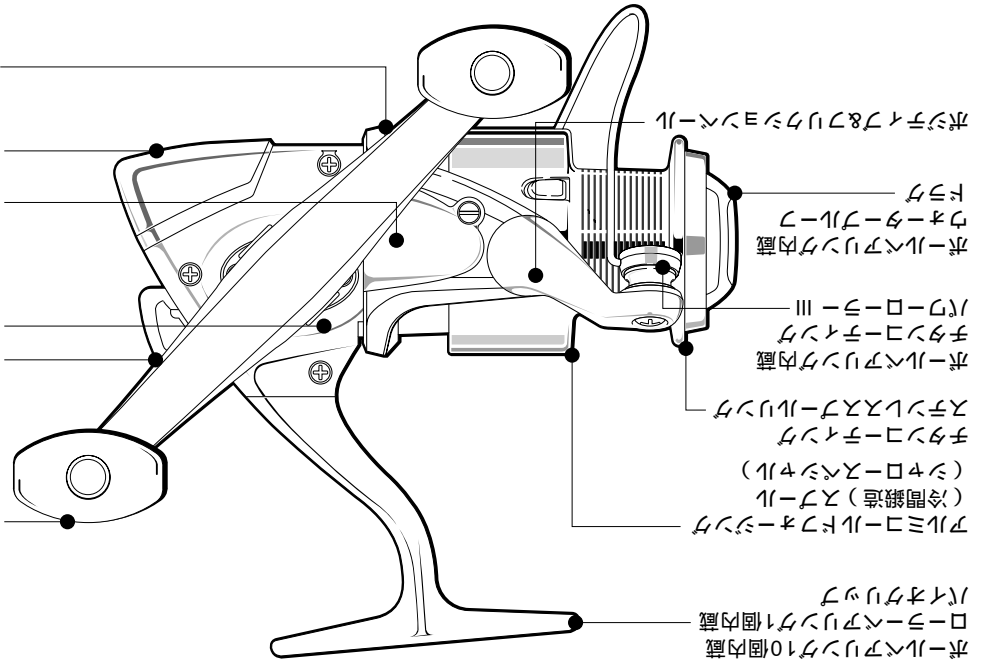
ペールを起こすのを忘れたり、ハンドルがペールのかえりやすい位置にならないようにしてください。オモリが出ていかずけがをする恐れがあります。

リールの回転部には 그리스 や油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。

リールを釣り以外の目的で使用しないでください。

回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。

各部の名称と仕様



このたびは、シマノ・ツインパワーSDHシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ツインパワーSDHシリーズは、ツインパワーSDHシリーズ専用のリールとツインパワーSDHシリーズ専用のパーツを組み合わせ、最高の性能と耐久性を実現しています。

また、ツインパワーSDHシリーズは、ツインパワーSDHシリーズ専用のパーツを採用、耐久性を向上させています。

お取り扱い上の注意

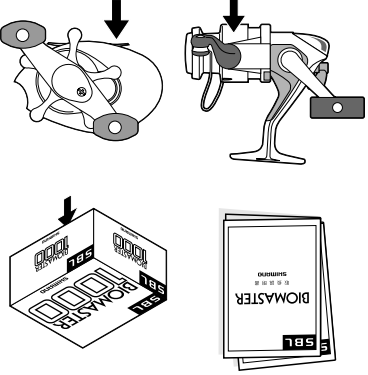
ツインパワーは精密部品で構成されていますので、下記の注意事項を守ってお取り扱いください。

- ご使用上の注意
- 根掛かりした時には、早ユールで無理にあらわないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
- ツインパワーは丁寧に扱ってください。移動時、特に機渡しの時の取り扱いや、パッド内の他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
- 砂浜、磯の上で糸を立てるとき、石突きを強く打ち込むと、ショックでリールの脚部が折れることがありますので、必ずゆっくりと糸を立ててください。
- お手入れの方法
- 各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイにふき取って十分乾燥させてください。シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。
- 下部部分には、絶対にオイルを付けしないでください。オイルがはいると釣力が低下することがあります。
- スプール・パイロ・ローターハウジング部にはツインパワーを絶対に付けないでください。ツインパワーの動作に悪影響をおよぼし、スプールの効率がなくなる場合があります。
- 高温、高湿度状態で長時間放置されれば、変形や強度劣化する恐れがあります。長期保存をされる場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存されるようにしてください。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

弊社の製品、部品には全てコードがつけられています。製品のコードにつきまして

- は図の中に表示しています。また部品につきましては分解図に載せています。
- 製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は図をご覧いただき、製品名と製品コード番号をお知らせください。
- 例/製品名：パイオウスター1000、製品コード：SC371000
- 部品番号をお知らせください。
- 製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は図をご覧いただき、製品名と製品コード番号をお知らせください。
- 例/製品名：パイオウスター1000、製品コード：SC371000
- 修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/スプールの軸が動かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービスセンターにお問い合わせください。
- 修理品は部品代のほか手数料をいただきさせていただきます。
- ご自分で修理をされる場合は部品の部品名やコードをお取り寄せは分解図をご覧ください。また、部品名・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。
- (内部の部品に關し共しては、補綴ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします)
- 例/製品名：パイオウスター1000 部品番号：2 部品名：スプールの修理



製品コードの位置
 取扱説明書・分解図・パーツ図
 底面部・製品コードの上5ケタを
 表示しています)

Super SHIP

SUPER SHIP (SMOOTH&HIGH POWER SYSTEM スムース&ハイパワーシステム)とは...
従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

【スーパーシップコンセプト】

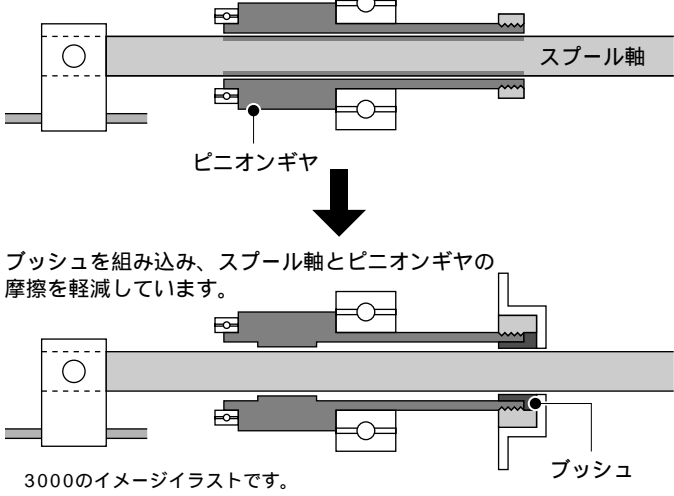
スーパーシップ

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

フローティングシャフト

ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とピニオンギヤの関係にスプール軸を支えるブッシュを組み込むことにより、摩擦を大きく軽減しています。

従来、ピニオンギヤの内側全体でスプール軸がこすっていました。



ブッシュを組み込み、スプール軸とピニオンギヤの摩擦を軽減しています。
3000のイメージイラストです。
テクニウムボディ
高剛性、高精度、高感度を誇る金属ボディです。コンバクトでしかも薄く、マスターギヤ部の出っ張りがないフラット感のあるボディが糸ガラムを防止します。

3次元曲面ローターシステム

糸巻き形状の調整
糸巻き形状の調整が可能のため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。

3次元曲面ローター

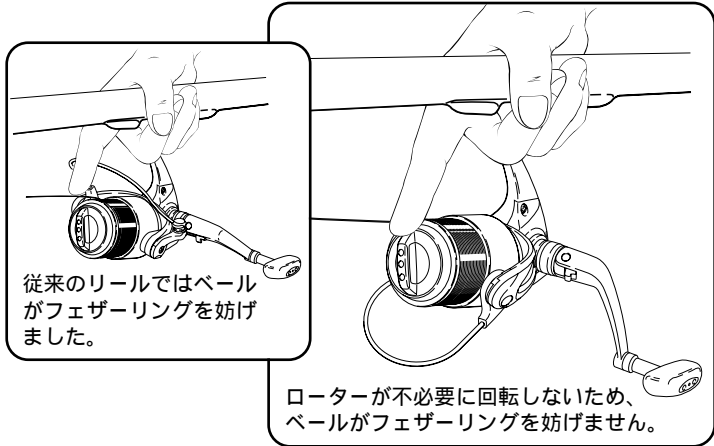
フラット化されたラインローラーとベールの接点、アームカム形状、そしてベール取り付けカムを内側から取付けることにより糸ガラムを防止しています。

パワーローラーIII

細糸でもヨレない新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。(下段「パワーローラーIII」の項を参照)

POSITIVE&FRICTION BAIL

ポジティブ&フリクションベール
ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。キャストの時リターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじゃまになりフェザリング(サミング)の妨げになるのを防止します。



ウォータープルーフドラッグ

微調整が可能で操作性にすぐれたマイクロクリック機構付ウォータープルーフドラッグです。雨天や潮をかぶるなどの過酷な条件でもドラッグ性能が変化しません。

シャロースペシャル・スプール

バスフィッシングにおけるライトラインの標準、フロロカーボンライン5Lb-100mがムダなく理想的な状態に巻き上がるキャパシティです。(1000SDHはナイロンライン3Lb-100m)

その他の機能

- スーパーstopper-II (ローラーベアリング1個内蔵)
- アルミダイキャストスプール
- ロングストローク・完全平行巻
- バイオグリップ
- ボールベアリング10個内蔵
- ロングライフスプリング
- チタンコーティングステンレススプールリング
- SDH専用ダブルハンドル (ボールベアリング内蔵)

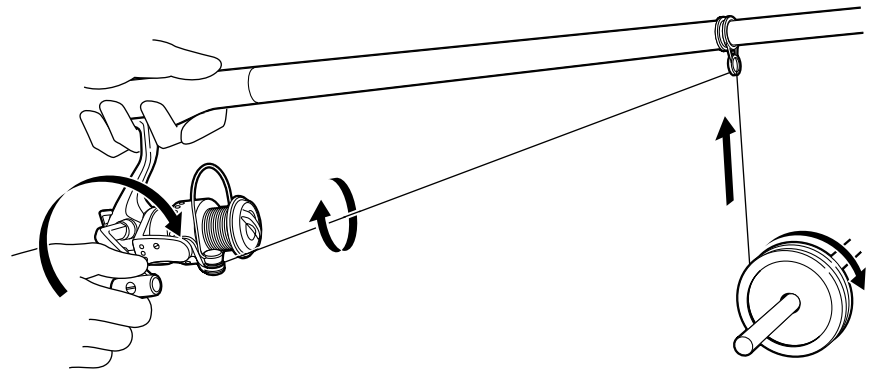


パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。
第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
ドラッグの締まっていることを確認して下さい。
糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

1 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨれている時。
ドラッグが作動した時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻き取り、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻き取りでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

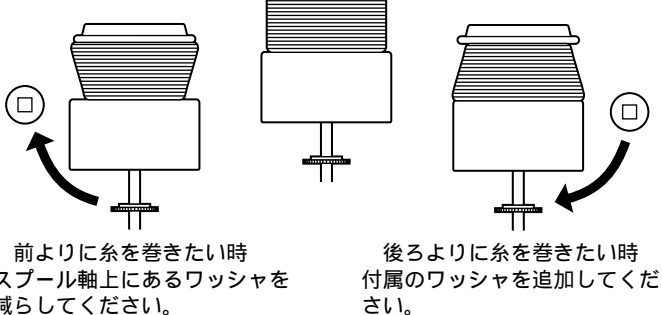
2 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

操作方法

糸巻き形状の調整方法

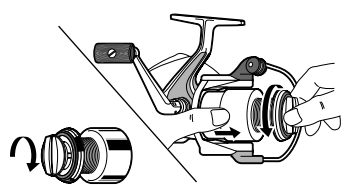
工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。また、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止するには、前より糸を巻くようにして下さい。

メーカー出荷時
(標準号数 例: 3000・3号)



スピールの脱着方法

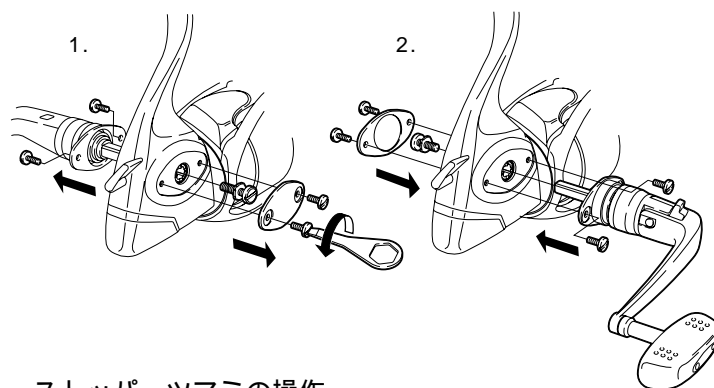
取りはずし方
ドラッグツマミを反時計回りにまわして下さい。



取り付け方
スピールをゆっくり回しながら、スプール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラッグツマミを時計まわりに回して締めつけてください。

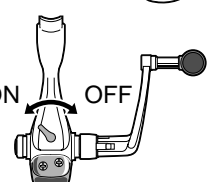
ハンドルの左右付け替え方法

- 図のように、ハンドルの根元を固定しているキャップのネジ2本を付属のリールレンチでゆるめてはずします。同様に反対側のロゴ入りキャップのネジ2本とそのキャップの下中央にある1本のネジもはずして下さい。
- ハンドル側とロゴ入りキャップ側の部品の場所を入れ替えネジを締め直して下さい。



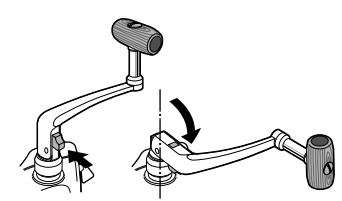
stopperツマミの操作

リール後ろから見てツマミが左に倒れている時 (ON)、逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラッグで魚とやりとりする時に使用します。同様に、ツマミが右に倒れている時 (OFF)、逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



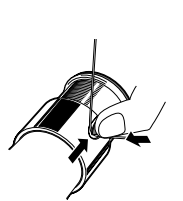
ワンタッチハンドルの折りたたみ方法

ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒して下さい。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆になります。



ラインホルダーとめ方

人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらせてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。



ドラッグの調整方法

ドラッグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スピールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

- 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通して下さい。
- stopper ONの状態、図のように糸を引き出しながら、ドラッグツマミの締めつけを調節して下さい。ドラッグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
- 通常は糸切れを起こす寸前の力でスピールが空転し、糸が出ていくように調節して下さい。また遠投などする時は、必ずドラッグをよく締めつけてから投げようして下さい。ドラッグが滑って糸で手を傷つけることがあります。

